

# 研究計画書

## 1. 研究の名称

心肺停止患者に対する病院前活動についての検討

## 2. 研究の実施体制（研究機関名称及び研究者氏名）

研究者：柴橋慶多 所属：墨東病院救命センター

## 3. 研究の背景、目的及び意義

心肺停止患者に対する病院搬送前処置拡大が予後改善に貢献するかについての科学的根拠は不足している。初回除細動適応波形心肺停止患者に対する病院前処置が転帰を改善するかについて検討を行い、その意義を明らかにすることを目的とする。

## 4. 研究の方法及び期間

】2011年から2016年に、当院へ搬送された、初回心電図波形が除細動適応波形（心室細動または心室頻拍）であった424例を後方視的に検討する。

## 5. 研究対象者の選定方法

当院へ搬送された、初回心電図波形が除細動適応波形（心室細動または心室頻拍）であった連続症例。

## 6. 目標症例数とその設定根拠および統計解析方法

当該期間内に搬送された対象症例数は424例である。

## 7. 評価の項目（エンドポイント）

退院時転帰。

## 8. 研究の科学的合理性

本邦の疫学研究において病院前処置拡大が、転帰不良と関連することも指摘されている。

## 9. 同意取得方法

既存データを使用した後方視的研究であり、患者情報は匿名化して扱う。個人の特定は不能であり、個別の同意取得は行わない。

## 10. 個人情報の取扱い（匿名化の場合にはその方法を含む）

患者は研究登録番号によって扱われる。

## 11. 研究対象者に生じる利益と不利益

本研究により利益、不利益ともに研究対象者に生じることはない。

## 12. 資料・情報の保管方法及び破棄の方法

データは、院内カルテ情報より収集される。検討結果の妥当性証明のため、蓄積データは匿名化された状態で電子端末内に保存される。

## 13. 研究の資金源等、研究に係る利益相反

本研究に関する利益相反はない。

## 14. 研究に関する研究成果の公表方法

第20回 日本臨床救急医学会総会・学術集会にて本研究の検討内容を公表する予定である。